

安平町長

瀧 孝



期待したいものです。

2013年の漢字大賞は「輪」に決定しましたが、2020年夏季五輪の東京招致

成功や、東北楽天ゴールデンイーグルスの初優勝に伴い東北に歓喜の輪が作られたことなどに起因するものでしょう。

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、平素から町政各般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年7月の参議院議員通常選挙において自由民主党が過半数を制し、デフレ脱却のための経済政策「アベノミクス」を進め、消費増税、TPP参加、特定秘密保護法案など、国の将来を左右する課題にも向き合いましたが、一方で、原発汚染水の流出が続く、被災地の復興は遅れています。先行きの見えない経済状況のなか、景気対策や雇用対策などの実現とあわせて被災地の復興も

事が昨年10月に着手され、平成27年度中の稼働開始を目指して工事が進められております。

昨年を振り返りますと、春先の低温、夏場の干ばつ、秋口の長雨など目まぐるしい気象変化の影響を受けた年であり、水稲は平年の作柄を確保することができたものの、畑作においては平年作を下回り、特に小麦は低温と病気の発生により大幅な収量の減と品質の低下など厳しい作柄となりました。また、酪農及び畜産においては、円安進行による飼料価格高騰で生産原価が厳しい中、生乳生産は微減の状況を維持しておりますが、肉牛においては昨年に比べ大幅な価格の上昇が見られ、今後

も好況な取引の継続を期待しているところです。しかしながら、TPP交渉参加以降関連する制度の見直しや新たな制度の創設など、農業農政改革における歴史的な課題に直面しており、現実化する限界農業に対する持続可能性の確保が喫緊の課題となっております。

合併からの懸案となっていた学校給食センターが4月からいよいよ供用開始となりますが、アレルギー対応の給食は2学期からスタートの予定で、安心安全な給食の提供に努めて参ります。

また、遠浅地区ではコミュニティセンター機能を兼ね備えた遠浅公民館の改築に向けた準備を進めて参ります。さらに、旧まちづくり委員会委員各位のご協力によりマチの憲法ともいえるべき「まちづくり基本条例」が昨年末に制定され、いよいよ住民参画のまちづくり元年を迎えることとなります。

残されました任期もわずかではありますが、「チームあびら」の合言葉のもと、なお一層住民と行政との協働のまちづくりに向けて邁進して参りますので、引き続き町民皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

謹賀新年

安平町

町長 瀧 孝

副町長 森下 茂

長山 龍児

安平町議会

副議長 島田俊明

議員 鳥越真由美

星 志直

佐藤 進

高山 正人

工藤隆男

多田政拓

谷村琢哉

田村興文

奥野 嵩

小笠原直治

安平町教育委員会

委員長 古卿誠幸

委員 平冲道治

五十嵐まゆみ

豊島 滋